

平成 22 年度学力試験問題の「出題意図」・「評価ポイント」について

国 語 【昼間コース 一般入試：前期日程】			
	出題意図	評価ポイント	
問題一	<p>問題文は、一見主体的な人間の行動や判断が外部環境からの影響を無意識のうちに受けていること、行動や判断に対する主体性ないし自律性は常識的なものの見方を援用して事後的に説明されたものであり、一種の錯覚であることが論じられている。文章の表現に難解な箇所はなく、論旨は明快である。設問は、文章の展開に即した読解力、基本的な語彙力などを問うており、相応の基本的な文章理解力をもった高校生であれば解答可能である。</p>	問一	<p>基本的な漢字について、書き取りが正確にできていること。止め・はね・払い等が正確にできていること。</p>
		問二	<p>(1) 問題文の展開に即して適切な箇所を把握し、該当実験の「方法」と「結果」を区別して簡潔に説明ができること。 (2) 「三つの実験」の趣旨を理解し、適切な語句を問題文中から抽出できること。</p>
		問三	<p>該当部分の意味を理解して、同義で置き換え可能な別の表現を問題文中から抽出できること。</p>
		問四	<p>周囲から類推して、適当な語句を空欄に補えること。</p>
		問五	<p>問題文全体の論旨を把握し、「合理化する動物」と「理性的動物」を明確に対比しながら簡潔に説明できること。</p>
		問六	<p>問題文のテーマを正確に理解し、キーワードとなる語句を問題文中から抽出できること。</p>
問題二	<p>古文に頻出する古語や定型的表現を理解しているか、高等学校で学習する古典文法の知識を習得しているかを問う。また、これらを用いて、古文の文章、意味・内容（文脈・状況設定や登場人物の考え・心情など）を正確に把握できるかどうかをみる。さらに、日本文学史について基礎的な知識を持っているかを確認する。</p>	問一	<p>古文でよく見られる古語を正しく読み書くことができていること。</p>
		問二	<p>本文の内容・物語の文脈・場面の状況を把握し、理解できていること。適切な語句を選び、正確かつ丁寧に書き写していること。</p>
		問三	<p>本文の内容と古典文法を理解しつつ、正しい現代日本語に訳していること。</p>
		問四	<p>古典文学に由来する慣用表現を知っていて、正しく書くことができていること。</p>

		問五	有名な史実に基づく物語や関連の古典文学史上の事柄について、基礎的な知識を持っていること。適切な作者名・作品名等の漢字・かな等の文字を正しく書くことができること。
		問六	問題文全体の内容を理解して、適切な本文中の表現を抽出し、それらを用いて説明できていること。
問題三	問題文は、国際関係・国際政治を事例に現代の知識人のあり方、現実的な批判のあり方について論じたものである。訳文ではあるが、平易な言葉で書かれており、論旨も明快である。文章全体の内容を理解できるかを重視して出題した。設問は基本的な語彙力と内容の理解力を問うている。高校卒業程度の読解力があれば、十分に解答できる。	問一	基本的な漢字について、読み取り・書き取りが正確にできていること。書き取りは、止め・はね・払い等が正確にできていること。
		問一	熟語の意味を適切に理解していること。
		問三	基本的な対義語を知っていること。
		問四	問題文の論旨を正確に理解していること。
		問五	該当箇所の意味内容を正確に理解し、同等の意味内容で簡潔に書かれている別の箇所を抽出できること。
問題四	日常生活で用いられる漢字の意味を正確に理解し、基本的な漢文法を修得しているかどうかを問う問題である。問題文には著名な文人の逸話と関連する詩を取り上げた。漢字の意味を正確にとらえ、語注などを参考にして登場人物の関係を理解し、文脈を読み解く力をみる。	問一	ひらがな・現代かなづかいという条件をふまえ、文法上重要な文字を正しく読めていること。
		問一	代名詞の指し示す内容を文意に応じて読み取り、正確に答えていること。
		問三	反語表現を読みとり、句法に従って返り点を施していること。
		問四	漢文の常用表現を文語文法に則った書き下し文にできること。
		問五	日常生活で用いられる漢字の意味を正しく理解していること。
		問六	逸話全体をよく理解し、的確な説明ができること。
		問七	文字の意味を正しくとらえ、情景にふさわしい日本語に訳せること。